協議（１）

教育振興基本計画（素案）への意見公募等の結果について

１．意見公募等（市民参画）の趣旨

教育振興基本計画（素案）の策定に当たり、こども達が自分から積極的に教育施策に参加する機会をつくること、こどもの意見を取り入れることで、熊本市の教育施策をより良くしていくことを目的として、こども達に対する意見公募（アンケート及び意見交換会）を実施した。

併せて、市民と行政のよりよい信頼関係のもと、市民参画・協働の取り組みを通じて、市民の皆さんの満足度の高いまちづくりを進めていくこと目的として、パブリックコメントを実施した。

２．意見公募等（市民参画）の種類

種類	対象者	期間
児童生徒アンケート 【小中学生編】	市立小・中・特別支援学校の児童生徒 （小学校５・６年生、中学校１～３年生） 回答数：１５，８４６名（４７．９％）	R5(2023).12.21- R6(2024).1.17
生徒アンケート 【高校生編】	市立高等学校の生徒（高校１～３年生） 回答数：１，２２１名（７６．３％）	R5(2023).12.21- R6(2024).1.12
意見交換会 【小中学生編】	城東小・藤園中・京陵中　児童生徒 計１３名	R6(2024).1.18
意見交換会 【高校生編】	必由館高校・千原台高校　生徒 計　７名	R6(2024).1.12
パブリックコメント	熊本市民 回答数：６人・１８件	R5(2023).12.20- R6(2024).1.19

３．各意見公募等（市民参画）に係る意見の反映方法

・教育振興基本計画（素案）に反映する（基本方針、施策の方向性等）。
・教育振興基本計画の下の実施計画にも反映を行う（事業概要等）。
・担当課及び関係課へ共有し、各事業の実施において反映を行っていく。

意見交換会の様子

4．意見公募等（市民参画）の結果（主な意見）

●基本方針（1）～（7）ごとの「施策の方向性」に、こどもたちが「一番大事」だと思うと回答した項目

児童生徒アンケート【小中学生編】【高校生編】　※詳細は、別添アンケート結果参照

基本方針 （かっこ内は「やさしい版」文章）	一番大事な項目として選ばれた施策の方向性 （かっこ内は「やさしい版」文章） グラフは上が小中、下が高	反映No
（1）主体的に考え行動する力を育む教育の推進 （自分で考えて、自分で決めて、自分で行動する力を育てる取り組みを進めます）	【小中高同じ】小中 34.9%、高 39.1% ②豊かな心と健やかな体を育む教育の推進 （心が豊かで、健やかに育つ教育を進めます）	1
（2）こども一人ひとりを尊重した教育の推進 （一人ひとりを尊重しながら、困っていることを手助けする教育を進めます）	【小中高同じ】小中 39.8%、高 45.4% ①個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 （一人ひとりに合った学び方で、もっと楽しく学べるようにします）	－
（3）最適な教育環境の整備 （学校が、みなさんにとって行くのが楽しみで安心して学べる場所になるようにします）	【小中学生】31.9%　《高校 21.5%・3 番目》 ④安全・安心な学校づくりの推進（学校がもっと安全で、安心して学べる場所にしていきます） 【高校生】31.3%　《小中学校 23.2%・3 番目》 ②学校におけるマネジメント体制の強化（学校がもっと良く活動していけるように計画を立てて進めていきます）	2
（4）こどものいのちと権利の擁護 （こどもたちのいのちと、こどもたちの権利を守ります）	【小中高同じ】小中 52.6%、高 45.4% ①こどもの最善の利益を守る環境づくり（こどもたちが、幸せに、楽しく過ごせる環境をつくります）	－
（5）生涯にわたる学びの提供と学びの成果をいかす機会の創造 （ずっと学び続けるための場所や時間などを用意して、その学びをいかす機会をつくります）	【小中高同じ】小中 35.7%、高 41.0% ①学びと活動の循環による環境の整備（新しいことを学んで活動にいかす、学びをくり返す仕組みをつくります） ※以下、小中・高共に 2 番目《小中 29.6%、高 36.4%》 ③青少年の健全育成（若い人たちが、心も体も健康に育つような取り組みをします）	3
（6）市民が身近に親しめる文化芸術の振興 （生活のすぐそばで、文化芸術に触れることができるようにします）	【小中高同じ】小中 45.8%、高 64.0% ①文化芸術活動の推進（文化芸術をもっと楽しめるような活動を進めます）	－
（7）ライフステージに応じた生涯スポーツの推進 （それぞれの年齢や生活に合わせて、スポーツを楽しめるような取り組みを進めます）	【小中高同じ】小中 46.1%、高 54.9% ①スポーツ機会の充実（もっとたくさんの人がスポーツを楽しめる機会を増やします） ※以下、小中・高共に 2 番目《小中 29.1%、高 31.2%》 ③スポーツ施設の整備・機能充実（スポーツをする場所が、もっと便利で楽しめるようになる取り組みを進めます）	4

●主な意見【意見交換会、アンケート、パブリックコメント】

基本方針（１）

施策の方向性	意見の概要	反映No	意見区分
新① 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進	部活動で先輩や後輩、先生、保護者の方と関わって礼儀や礼節を学んでいるが、部活に入っていない生徒は経験が少なくなるため、授業等で取り入れた方がよいのではないか（高校生）	－	意見交換会
	学力も大事だが、人間性も大事であり、人を大切にしない人がいると学びたいと思う人が減ると思うので「心が豊かで、健やかに育つ教育を進めます」（事業概要２）を１番目がいい（小６）	－	意見交換会
	学校は勉学に励む場所であり、説明にある「一人ひとりの理解に合わせて教える」ことで勉強したくなると思えるので、「「学びたい」と思える力を育てる教育を進めます」（事業概要１）を１番のままがいい（中２）	－	意見交換会
	学年が上がると運動をする人が減る傾向にあるので、高学年でも楽しく遊べる遊具の設置や運動強化月間のようなイベントがあればやろうという気になるのではないか（中２）	－	意見交換会
	・道徳の授業は回数を増やすべきだと感じる（高校生） ・道徳の授業が少ないので、学活の時間でやることがない時に学習するとよいと思う（中２） ・自分や他人の権利を理解していくことが重要だが、人権学習が少ないと思う。人権について理解が浅い人もいる（中２） ・ハンセン病について学習した際には、熊本であったことで身近に感じられ、後から自分でも調べてみる人もいたので、身近な例で学習すると理解が進み、頭にも残る（中２）	5	意見交換会
	・小中学校とは違った、年齢にあった道徳の授業を受けたい（高校生） ・人権についての授業を増やす（高校生） ・命の勉強が足りていない（小５）		アンケート
	・性に対する多様性について、その他様々な人の個性という違いによって生じるいじめや差別をなくしてほしい（中３） ・もっと LGBTQ +を受け入れる人が増えてほしい（小５） ・そもそも LGBT や障害がある人を別として見るのはおかしい。LGBT は特に近年増えていて、クラスに数人いてもおかしくないのに、性別に違和感があるだけで別で考えられるのは差別ではないか（小５）	6	アンケート
新② 自ら学びに向かう力を育む教育の推進	・無記名で授業の評価アンケートをとり先生に結果を示して改善してもらうシステムについて聞いたが、やった方がいいと思う（高校生） ・先生を選べるようにしてもらうと選択肢を持てる生徒が増え、先生の評価が分かりやすいが、先生の数が足りないかもしれない（高校生）	－	意見交換会
	・受講する先生を選べるようにしてほしい（高校生） ・「いい先生」と「あまり先生に向いていなさそうな先生」との差が大きい（中２） ・学校の方針以前に教師の質の低下、及びやる気のなさが我々生徒からみても表面に浮き出ている（中３）　ほか	－	アンケート

基本方針（１）　（つづき）

施策の方向性	意見の概要	反映No	意見区分
新② 自ら学びに向かう力を育む教育の推進	・図書の時間を増やし、本に触れる機会を大切にして欲しい。（小６） ・いろいろなことを知識として学ぶために、もっと学校の図書室に予算をおろして欲しい（中２） ・本を読む時間を増やすことが必要（中３）　ほか	7	アンケート
新③ 社会の形成や持続的発展に主体的に貢献する力を育む教育の推進	総合の時間に、農業や接客業等の自分たちは直接関わってはいないが、生活するうえで絶対に必要な仕事の体験をすることで、日頃の感謝や豊かな心につながるため、授業に取り入れてほしい（中２）	－	意見交換会
	・学校の校則に不満がある生徒の意見はしっかりと反映されているのか（高校生） ・校則について意見を伝えやすい環境を整えてほしい（中２） ・学校の校則について、みんなで考えるような取り組みを増やして欲しい（中１） ・学校に必要ないだけで、校則でダメだと言うのではなく生徒の考えを取り入れて校則を立ててほしい（小５）　ほか	8 ・ 9	アンケート
④ 遊びを通して創造的な思考や主体的に行動する力を育む幼児教育の推進	施策の基本方針に幼児教育の内容が検討されていることに大変うれしい気持ちになった。幼児教育に携わり、教育の原点がここにあり、この場での学びが今後の生活や学習の基盤を培う役割があると強く感じている。保護者、教職員の中には教育は小学校から始まるという意識の方もいると思うが、基本方針に取り入れられることで、全市あげて幼児期から学び・教育が始まり、学びの質が今後の人生に大きな影響をおよぼすことを認識できるのではないかと思う。	－	パブリックコメント

基本方針（２）

施策の方向性	意見の概要	反映No	意見区分
① 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実	校外に出て色々な方と関わっていくことで授業では学べないことを学ぶことができるため、校外学習は重要だと思う（高校生）	－	意見交換会
	・１回の授業で分かる生徒と分からない生徒がいるので、授業の様子を動画で見直せるようにすると全員が分かるようになると思う（中２） ・勉強が得意な人と不得意な人が半分ずつのグループに分けて別々に学習したり、授業の時間の多くを生徒交流とするなど、こども同士で教え合えるといいのではないか（中１） ・現在は席の間隔が広く話しかけづらい面があるため、席を近づけることで教え合いや交流が深くなると思う（中２） ・教え合いの時間が放課後にもあるといいと思う（中２） ・中学生が小学生に勉強を教える機会があれば、地域全体、学校全体がつながって学びが繰り返されると思う（中２）	－	意見交換会
	たくさんの人と勉強をするのが苦手な人もいると思うのでそういう人のために先生と２人ですれば安心して学校に行けると思う（小５）	－	アンケート
	春、夏、秋、冬にできることをやり、絆を深めていく活動する（小５）	－	アンケート

基本方針（２）　（つづき）

施策の方向性	意見の概要	反映No	意見区分
② 特別支援教育をはじめとする多様な教育的ニーズに対応した支援の充実	障害がある人がもっとみんなと平等に学べるために、継続的な支援、その人に寄り添うなどのことをしてほしい（小６）	－	アンケート
	・児童生徒同士の暴言を先生に相談できない人も多いので、元気がないこどもに先生から話しかけてほしい（小５） ・小学生の時期は言葉の意味を理解せずに暴言を言うことがあるため、意味を理解させ、言うことがかっこ悪いということを伝えると暴言が減ると思う（中２）	－	意見交換会
	・いじめは先生が頑張っても、クラスメイト全員で考えないとなくならないと思う（小６） ・いじめへの対処について、いじめた側といじめられた側双方からしっかりと話を聞いて解決して欲しい。いじめられた側はいやなことを思い出しながら話さないといけないため、特にいじめた方に意図等を聞くべきだと思う（中２）	－	意見交換会
	カウンセリング受けるだけでもからかわれる恐れがあり、タブレットで他に人にはわからないように相談ができるようにしてほしい（中２）	－	意見交換会
	・学校内で体罰や暴言を言う人たちを、別の教室に入れる方法でいじめがなくなるのではないか（中３） ・いじめやいじりのない学校にしてほしい（中１） ・軽い差別や暴言でもかわいそうだから必ず注意をするようにしてほしい（小６） ・いじめや嫌がらせをさせられてしまうと学校に行くのが怖くなっていかない子の原因になる思う。少しでも嫌なことがあったら大切な友達や先生に相談をすることだと思う（小６）　ほか	１０	アンケート
③ インクルーシブ教育の推進	修学旅行で支援クラスの生徒と話していいことが分からず壁があるように感じたので、特別支援学級の生徒がもっと通常学級で学習できるようになるといいと思う（中２）	－	意見交換会
	・個性が強い子も見捨てずに付き合ってあげてほしい。能力が他の人と比べて劣っているような子に学びの機会を与えてほしい（小６） ・多様性が認められる一人一人を尊重する学校にしてほしい（小６）	－	アンケート
	特別支援教育とインクルーシブは別物だと思うが、同じ項目にかかれており、どっち付かずの印象を受ける。熊本市としてはどちらを目指しているのか知りたい（市民）	－	パブリックコメント
④ 体罰・暴言等の根絶	・体罰や暴言などが起きないように、教師の仕事環境の見直しと、意識改善をもっとしていくべき（高１） ・学校から、体罰、暴言を無くすことなど、当たり前の事の徹底をしてもらいたい（中３） ・学校の先生が、体罰がだめで、生徒に注意できないからありにしていいと思う（中２）	－	アンケート

基本方針（3）

施策の方向性	意見の概要	反映No	意見区分
新① 安全・安心な学校づくりの推進	トイレを洋式にしてほしい、綺麗にしてほしい（複数意見）	－	アンケート
	体育館を広くしてほしい、クーラーを設置してほしい（複数意見）	－	アンケート
	怪我をした人のために、校舎にエレベーターをつけてほしい（複数意見）	－	アンケート
	静かに勉強できる自習室があると良い（複数意見）	－	アンケート
	ジェンダーレスの観点から１つの階に１か所は多目的トイレを整備して欲しい（中２）	－	意見交換会
② 学校におけるマネジメント体制の強化	先生にゆとりがあり、先生と生徒が気軽に話したり遊んだりできれば、いじめがあっても相談できるし、先生がいるだけで安心できると思う（小５）	－	意見交換会
	先生という職業は、ストレスが溜まってしまう仕事だと思うが、先生が我慢をしてしまうと先生自身が辛くなってしまうし、ストレスが溜まって他の人(生徒など)に当たるともっときつくなってしまうため、先生専門のスクールカウンセラーを入れたほうがいい（小６）	－	アンケート
	先生達の仕事が多くて、あまり生徒との関わりができていないなと感じたり、授業があまり分からないなと思う（中１）	－	アンケート
新③ 地域や家庭と連携した教育環境の整備	地域との関わりについて、地域の方々に芸術や書道などの学校で制作している物を販売することで、保護者や地域の方に知っていただくことができると思う（高校生）	－	意見交換会
	・健康について、自分が発表したいことを調べてまとめ、地域の方や保護者に発表する機会があったが、自分で調べることでより詳しくなるためそのような機会がどこでもあった方がいいと思う（小６） ・小学校では上通りのお店にインタビューをするなど地域のことを調べる機会があったため、中学校でも、ナイストライはあるものの地域のことを知る機会があるといいと思った（中２）	－	意見交換会
	・地域の人たちと関われる機会をつくるといい関係が持てる（中２） ・地域の人との交流は、定期的に学校側でやれば、伝統に保持などに繋がる（小６） ・地域のみなさんと、（子ども会やボランティアの方々）学校がもっと楽しめて、より良いところにするにはどうすればいいかを話してみたい（小５） ・最近、地域の方々との交流があまりない（小６）	－	アンケート
新④ 働き方改革の推進	部活動に関し、先生が経験者になってから成績が上がったため、どの先生がどの部活を担当するかは考えていただきたい。	－	意見交換会
	部活が多いので、土日など普通の高校生活をあまり楽しめていない。部活動の時間を制限してほしい（高校生）	－	アンケート
	部活をつくってほしい、もう少し増やしてほしい（複数意見）	－	アンケート

基本方針（４）

施策の方向性	意見の概要	反映No	意見区分
① こどもの最善の利益を守る環境づくり	幸せに楽しく過ごせる環境は、睡眠がとれることだと思う。部活や課題が多く休む時間がないと感じる（高校生）	－	意見交換会
	自分の個性を認めてくれる環境があるから幸せに感じる。また、学ぶことは、結果を出すことが楽しい（高校生）	－	意見交換会
	自分のやりたいことをやっている時が幸せに楽しく過ごせる環境だと思う（高校生）	－	意見交換会
	家も学校も縛られた感じが強い。自分のやりたい事は自分がよくわかってるのに揃いも揃って否定してくる。消えろって言われてるみたい（中１）	－	アンケート
② 家庭環境に左右されない学習機会の充実	・給食を無償化したほうがいいと思う（小５） ・給食費を減額（中３）	－	アンケート
④ こどもの権利擁護に関する理解の促進	障がいがあっても笑わないでほしい。それは個性だと思ってほしい（小５）	－	アンケート

基本方針（５）

施策の方向性	意見の概要	反映No	意見区分
① 学びと活動の循環による環境の整備	漢字検定や英語検定の検定料が高いため、経済的なサポートがあれば興味や挑戦が増える。服飾デザインコースでは布にもお金がかかるため少しでも補助があるとよい（高校生）	－	意見交換会
新② 青少年の健全育成	放課後の過ごし方で、学童クラブのように狭い部屋で過ごすだけではなく、運動クラブや文化的な活動等、習い事とは別に、誰でも望む子供は無償でいろんな活動にいそしむことができるような仕組をつくってほしい。他自治体で導入されているところがある（市民）	－	パブリックコメント
新③ 生涯学習関連施設の機能充実	・図書館の人が多すぎて勉強するスペースがなかったため、図書館にもっと学習スペースを設けてほしい（高校生） ・地域の図書館や学校の図書室など、教室や家以外での勉強の場の選択肢を増やすと、学びに関心を持つなどもっと学ぼうとする人が増えると思う（中２）	－	アンケート

基本方針（6）

施策の方向性	意見の概要	反映No	意見区分
① 文化芸術活動の推進	伝統工芸品について、ほとんど知られていないと感じる。芸術は見に行く機会があるが、伝統工芸品は機会が少ない（高校生）	－	意見交換会
	日本では文化にお金がかけられておらず、スポーツと比べるとメジャーではないと思うので、イベントや教育の場で芸術を広め、興味を持つ方が増えるとよい（高校生）	－	意見交換会
	・学校に落語家が来る機会があり、そのような機会が増えるといい（小５） ・学校行事の一環として文化に触れることはあるが個人ではあまりないため、学校で周知されると中学生の参加者も増えると思う（中２）	－	意見交換会
	地域に根付いた文化を伝える施設があると、地域の活気が出ると思う（中３）	－	アンケート
	市の美術館の専門の方が、開催されている展示のすばらしさを様々な角度から紹介し、美術や美術館の職員を身近に感じることで美術館に足を運ぶきっかけにもなり収益も上がると思う。オンラインでも可能だと思うので、本物に触れるきっかけを作ることが大事ではないか（市民）	－	パブリックコメント

基本方針（7）

施策の方向性	意見の概要	反映No	意見区分
① スポーツ機会の充実	高齢者と高校生が一緒にスポーツを楽しむ機会があれば、お互いの理解も進むと思う（高校生）	－	意見交換会
	地域から参加できるスポーツイベントがあるといい（高校生）	－	意見交換会
	小学校では地域の方と夜にバドミントンをする機会があったが、そのような地域とふれあえる機会がもっとあるといいと思う（中１）	－	意見交換会
	プロスポーツ選手を実際に呼んだりマイナースポーツをやることによって小さい子供はこうなりたいなというのが決まるかもしれないしご老人の方は勇気をもらえると思う（小６）	－	アンケート
新② スポーツ施設の整備・機能充実	スポーツをできる場所の整備（中３）、運動ができる場所が少なくなってきている（中３）、スポーツができる施設を増やしてほしい（小６）	－	アンケート

その他

意見の概要	意見区分
文字を書く機会が減り、漢字を書く力が下がっている気がする（高校生）	意見交換会
体育座りは長時間になると体が痛くなり、体に良くないという話も聞くので、座り方を自由にしたり、集会を ZOOM で行うなどの対応をして欲しい（中２）	意見交換会
公園でボールを使えるようにしてほしい（複数意見）、いろんな人が遊べる公園などを増やす（中 3)、公園(遊具多め)を増やしてほしい（小６）	アンケート

5．意見の反映について

No	区分	反映箇所	反映内容
1	施策の方向性	（1）①→② （1）②→①	**施策の方向性①を②へ（②を①へ）** 児童生徒アンケートにて、小中学生、高校生共に一番大事な項目として選ばれた方向性②を①へ変更。 【変更後】 ①豊かな心と健やかな体を育む教育の推進 ②自ら学びに向かう力を育む教育の推進
2	施策の方向性	（3）④→① （3）①→③ （3）③→④	**施策の方向性④を①へ（①を③へ ほか）** ・アンケート（小中学生編）にて、一番大事な項目として選ばれた方向性④を①へ変更（31.9%） ・アンケート（高校生編）にて、最も重要視してほしい項目として挙げられた方向性②は、原案どおり②とする（31.3%） ・小中学生、高校生共に二番目となった項目である施策の方向性①を③へ変更（小中学生 27.4%、高校生 29.7%） 【変更後】 ①安全・安心な学校づくりの推進 ②学校におけるマネジメント体制の強化 ③地域や家庭と連携した教育環境の整備 ④働き方改革の推進
3	施策の方向性	（5）③→② （5）②→③	**施策の方向性③を②へ（②を③へ）** 児童生徒アンケートにて、一番目の項目とわずかな差で二番目であった項目を③を②へ変更（小中 6.1 ポイント差、高 4.6 ポイント差）
4	施策の方向性	（7）③→② （7）②→③	**施策の方向性③を②へ（②を③へ）** 児童生徒アンケートにて、二番目であった項目と三番目の項目（小中 17.4%・高 8.9%）との差が大きいため、③から②へ変更（小中 11.8 ポイント差、高 22.3 ポイント差）
5	事業概要	（1）新①2	意見に基づく修正 【変更後】事業概要 2 **人権やいのちに関する理解を深め、豊かな人間性や人権感覚を育て、自分や他の人を大切にし、それが具体的な態度や行動に現れるような人権教育を充実させます。**
6	事業概要	（1）新①3	意見に基づく再検討による修正（「マイノリティ」の理解というより、自分自身を含む「性の多様性」について学ぶという趣旨の表現に変更） 【変更後】事業概要 3 **学校における性に関する指導を充実させ、科学的知見に基づく正しい理解や性~~的マイノリティへの~~多様性の理解促進による人権意識の醸成を図るなど、いのちを大切にする教育を推進します。**

5．意見の反映について　（つづき）

No	区分	反映箇所	反映内容
7	事業概要	（1）新②2	意見に基づく修正 【変更後】事業概要１ **ＩＣＴ~~を~~の活用~~し~~により、児童・生徒一人ひとりの学習状況に沿った支援を行~~い~~うとともに、図書の活用により、読書活動や調べ学習を充実させ、主体的に学ぶ力を育み~~学力の向上を図り~~ます。**
8	施策の方向性	（1）③	意見に基づく修正 【変更後】方向性③ **社会の形成や持続的発展~~の実現~~に主体的に貢献する力を育む教育の推進**
9	事業概要	（1）③4	意見に基づく新規追加 【追加内容】事業概要４ **自分たちの決まりは、自分たちで作って、自分たちで守るという民主主義の基本を身に付けながら、自ら判断し行動できるよう、校則のあり方の見直しに取り組みます。**
１０	事業概要	（2）②3	意見に基づく修正 【変更後】事業概要３ **いじめや不登校のほか、こどもたちや保護者の悩みごとの相談に対して、教員とスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどの専門家との連携を図りながら、相談体制を強化し、課題解決に取り組みます。**

次期 熊本市教育振興基本計画・教育大綱　素案

基本理念　豊かな人生とよりよい社会を創造するために、自ら考え主体的に行動できる人を育む

施策の基本方針

(1)主体的に考え行動する力を育む教育の推進
① 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進
② 自ら学びに向かう力を育む教育の推進
③ 社会の形成や持続的発展に主体的に貢献する力を育む教育の推進
④ 遊びを通して創造的な思考や主体的に行動する力を育む幼児教育の推進

(2)こども一人ひとりを尊重した教育の推進
① 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
② 特別支援教育をはじめとする多様な教育的ニーズに対応した支援の充実
③ インクルーシブ教育の推進
④ 体罰・暴言等の根絶

(3)最適な教育環境の整備
① 安全・安心な学校づくりの推進
② 学校におけるマネジメント体制の強化
③ 地域や家庭と連携した教育環境の整備
④ 働き方改革の推進

(4)こどものいのちと権利の擁護
① こどもの最善の利益を守る環境づくり
② 家庭環境に左右されない学習機会の充実
③ ライフステージに応じた継続的な支援の充実
④ こどもの権利擁護に関する理解の促進

(5)生涯にわたる学びの提供と学びの成果をいかす機会の創造
① 学びと活動の循環による環境の整備
② 青少年の健全育成
③ 生涯学習関連施設の機能充実

(6)市民が身近に親しめる文化芸術の振興
① 文化芸術活動の推進
② 歴史的文化遺産の調査研究、保存整備と活用

(7)ライフステージに応じた生涯スポーツの推進
① スポーツ機会の充実
② スポーツ施設の整備・機能充実
③ 競技力の向上

教育振興基本計画　令和6年度実施計画検証指標一覧

※基準値の括弧書きは、参考値として令和4年度の確定値や令和5年度の速報値を記載していることを示す。

基本方針（1）主体的に考え行動する力を育む教育の推進

施策の方向性		主な事業概要	関係課	検証指標	単位	基準値(R5)	検証値(R9)
施策の方向性① 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進	1	感動・感謝する心や郷土を愛する心など、豊かに生きるための基盤となる道徳性を育成する教育を充実させます。	教育センター	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると答えた児童生徒の割合	%	小83.8 中85.1	検討中
	2	人権やいのちに関する理解を深め、豊かな人間性や人権感覚を育て、自分や他の人を大切にし、それが具体的な態度や行動に現れるような人権教育を充実させます。	人権教育指導室	人が困っているときは，進んで助けていると答えた児童生徒の割合	%	小 90.3 中 86.2	小 94.0 中 90.0
	3	学校における性に関する指導を充実させ、科学的知見に基づく正しい理解や性の多様性性的~~マイノリティへ~~の理解促進による人権意識の醸成を図るなど、いのちを大切にする教育を推進します。	健康教育課	~~「いのちの大切さを考える講演会」実施校数~~ 各学校の実態に応じた性に関する指導の年間計画に基づく実施状況	~~校~~ %	~~67~~ 調査中	~~107~~ 検討中
			人権教育指導室	性的マイノリティに関する人権問題についての学習状況	%	(57.6) (88.4)	小 65.0 中 95.0
	4	生涯にわたって健康な生活を送ることができるよう、こどもの基本的な生活習慣を育成するとともに、食育を推進します。	健康教育課	1週間あたりの朝食について、「食べない」と答えた割合	小5--% 中2--%	1.2 2.5	0.0 0.0
	5	運動の楽しさに触れ、運動習慣の確立につながるような取組を進め、こどもたちの体力の向上を図ります。	指導課	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点の全国との比較（全国平均を50とした値）	小5男子 小5女子 中2男子 中2女子	(49.4) (49.5) (49.9) (50.2)	50

基本方針（1）主体的に考え行動する力を育む教育の推進

施策の方向性		主な事業概要	関係課	検証指標	単位	基準値(R5)	検証値(R9)
施策の方向性② 自ら学びに向かう力を育む教育の推進	1	各教科や特別活動等の学校教育全体を通じてこどもの意欲・関心を高めるとともに、主体的に社会の課題を解決することのできる人づくりを推進します。	指導課	授業において、課題の解決に向け、自分で考え、自分から取り組んだと思う児童生徒の割合	小--% 中--%	76.6 71.8	80.0 80.0
	2	ＩＣＴのを活用により七、児童・生徒一人ひとりの学習状況に沿った支援を行うとともに行い、図書の活用により、読書活動や調べ学習を充実させ、主体的に学ぶ力を育み学力の向上を図りります。	指導課 教育センター	①ドリルソフトの単元テストやその他デジタル教材等で児童・生徒の学習状況、理解度を把握していると回答する教員の割合	小--% 中--%	調査中	100 100
				②児童・生徒の学習状況から、それぞれに応じた学習課題を設定するという対応をとっていると回答する教員の割合	小--% 中--%	調査中	100 100
				③ドリルソフトやその他のアプリを活用することで、学習内容が理解できるようになったと感じる児童・生徒の割合	小--% 中--%	調査中	80.0 80.0
				④学習の中でICT機器（タブレットPC・タブレット端末）を活用することが有効だと感じる児童・生徒の割合	小--% 中--%	96.7 95.2	100 100
	3	それぞれの中学校区に応じた小中一貫教育や幼小中の連携を推進することにより、学力向上と児童生徒指導の充実を図ります。	指導課	中学校入学時に、小学校と中学校の違いに戸惑いを感じなかった生徒の割合	%	30.0	35.0
	4	校内研修や派遣研修などを実施するとともに、教員などの資質向上に関する指標を活用した教職員の育成を強化し、教職員の指導力の向上を図ります。	教育センター	授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っている学校の割合	小--% 中--%	96.8 95.3	100 100
	5	若手教員の育成、学校内外での研修の充実など、教員の指導力を強化します。	教育センター	授業力向上支援員の派遣回数（小・中）	回	670	700
	6	児童生徒の英語力や教員の英語指導力の向上につながる教員研修の充実や、小学校における重点的な外国語教育を推進します。	指導課 教育センター	中学3年生のうちCEFR A1レベル(英検3級)相当以上の割合	%	(57.2)	60
	7	デジタル社会の善き担い手を目指し、デジタル・シティズンシップ教育の充実を図ります。	教育センター	①デジタル技術を活用して、地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童・生徒の割合	%	小72.8 中61.0	小100 中100
				②デジタル技術を活用した自らの学習・行動が、地域や社会をよくすることにつながったと感じた児童・生徒の割合	%	調査中	小100 中100

基本方針（1）主体的に考え行動する力を育む教育の推進

施策の方向性		主な事業概要	関係課	検証指標	単位	基準値(R5)	検証値(R9)
施策の方向性③ 社会の形成や持続的発展~~の実現~~に主体的に貢献する力を育む教育の推進	1	各学校の活動を持続可能な開発のための教育（ＥＳＤ）の視点で捉え直し、社会の担い手を育み、学校や地域の更なる活性化を推進します。	指導課 地域教育推進課	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある児童生徒の割合	%	小72.8 中61.0	小77.0 中64.0
	2	社会的・職業的自立に向けた力などを育むために、民間企業等との連携によるキャリア教育、自然体験や勤労体験などの体験的学習を充実させます。	指導課	ナイストライ事業で職場体験を実施した生徒のうち、人や地域のために貢献することの大切さを学ぶことができたと回答した生徒の割合	%	96.9	98.0
	3	必由館高校、千原台高校、総合ビジネス専門学校の独自性と専門性を高め、市立高等学校・専門学校改革基本計画に基づき、「市立ならでは」の魅力ある学校づくりを推進し、地域社会に貢献できる力を育みます。	教育改革推進課	自分は責任がある社会の一員だと思う割合	%	調査中	5%向上 (基準値×1.05)
				自分の行動で、国や社会を変えられると思う割合			
				国や社会に役立つことをしたいと思う割合			
	4	自分たちの決まりは、自分たちで作って、自分たちで守るという民主主義の基本を身に付けながら、自ら判断し行動できるよう、校則のあり方の見直しに取り組みます。	人権教育指導室	全ての児童生徒が校則の見直しに参加した学校の割合	%	調査中	100
				全ての保護者が校則の見直しに参加した学校の割合	%	調査中	100
施策の方向性④ 遊びを通して創造的な思考や主体的に行動する力を育む幼児教育の推進	1	遊びを通して幼児が最後までやり抜く力や協働する力を育むとともに、幼児が集団の中で自己を発揮し探究し続ける、創造的な思考と主体的に行動できる力を育みます。	指導課	こども（幼児）が自分の思いを表現し、意欲的に活動していると思う保護者の割合	%	97.3	100
	2	幼稚園と小学校の設置者が同じという特性を生かして幼小連携の取組の中心的役割を担い、幼小連携をさらに充実させます。	指導課	幼小中連携カリキュラムの中に、幼児教育施設の「めざすこども像」等を含めて計画している中学校区の数	校区	20	42
	3	特別な配慮を必要とする幼児にきめ細かに対応~~し~~するために、全ての教職員の専門性の向上に努め、教育と福祉の連携を強化して切れ目のない支援を行います。~~、特別支援教育を充実させます。~~	総合支援課	市立幼稚園の要配慮園児の個別の支援計画等の作成率	%	~~56.1~~ 86	100
			総合支援課	特別支援教育にかかる研修（オンライン研修含む）を受けた教員の割合	%	調査中	100
	4	児童館や保育施設等での遊びを通して、幼児や児童の自主性、社会性及び創造性を高め、地域における健全育成活動の推進を図ります。	こども支援課 保育幼稚園課	児童館は楽しいと思うこどもの割合	%	92	100

基本方針（２）こども一人ひとりを尊重した教育の推進

施策の方向性		主な事業概要	関係課	検証指標	単位	基準値(R5)	検証値(R9)
施策の方向性① 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実	1	個に応じた授業の実施や学習支援アプリ等の活用により、児童生徒一人ひとりの学習状況に沿った支援を行います。	指導課 教育センター	授業において、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていると思う児童生徒の割合	%	小81.6 中68.6	小83.0 中75.0
	2	ICT機器を効果的に活用しながら、指導の個別化と学習の個性化による個別最適な学びと、探究的な学習や体験活動等を通した他者と協働する学びを、一体的に充実させます。	指導課 教育センター	学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることが出来ていると思う児童生徒の割合（小学６年生、中学３年生）	%	小81.8 中77.7	小85.0 中80.0
	3	少人数学級や少人数指導など、こどもたちの実態や個に応じたきめ細かな指導を実施します。	指導課 教育センター	１（授業において、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていると思う児童生徒の割合）と同指標	%	小81.6 中68.6	小83.0 中75.0
施策の方向性② 特別支援教育をはじめとする多様な教育的ニーズに対応した支援の充実	1	特別な教育的支援を要するこどもたちに適切な支援を行うため、全ての教職員の専門性の向上に努め、個別の指導計画等を活用した指導・支援及び校内支援体制の充実を図ります。	総合支援課	小中学校の通常の学級在籍の要配慮児童生徒の個別の指導計画等の作成率	%	77.3	100
			総合支援課	特別支援教育にかかる研修（オンライン研修含む）を受けた教員の割合	%	調査中	100
	2	こどものニーズに沿った多様な学びの場の整備を進めるとともに、通常の学級、通級指導教室、特別支援学級、特別支援学校等の指導・支援の充実を図ります。	総合支援課	通級指導教室の設置校数	校	34	44
	3	いじめや不登校のほか、保護者やこどもたちや保護者の悩みごとの相談に対して、教員とスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどの専門家との連携を図りながら、相談体制を強化し、課題解決に取り組みます。	総合支援課	学校内外の機関等で~~社会的自立に向けた専門的な~~相談・指導等などを受けていない長期欠席児童生徒の割合	小--% 中--%	(40.6) (38.0)	20.0 20.0
			総合支援課	いじめの解消率	%	26.6	63.2
	4	こどもの変化にいち早く気づき、対応する学校の体制づくりや家庭と学校の連携体制等について強化します。	総合支援課	こどものサイン発見チェックリスト(家庭用)の活用回数	回	1	3
	5	外国にルーツを持つこどもへの日本語指導の充実を図ります。	指導課	日本語指導受入れ対応児童生徒の延べ人数	人	87	90
	6	フリースクール等との情報交換・連携を実施します。	総合支援課 ~~地域教育推進課~~	３（学校内外の機関等で~~社会的自立に向けた専門的な~~相談・指導等などを受けていない長期欠席児童生徒の割合）と同指標	小--% 中--%	(40.6) (38.0)	20.0 20.0

基本方針（２）こども一人ひとりを尊重した教育の推進

施策の方向性	主な事業概要		関係課	検証指標	単位	基準値(R5)	検証値(R9)
施策の方向性③ インクルーシブ教育の推進	1	共生社会の実現に向けて、障がいのあるこどもや外国にルーツを持つこどもなどが共に学ぶ教育を推進します。	総合支援課	~~通常学級において、特別支援学級在籍の児童・生徒が一緒に学習に参加できる支持的な雰囲気があるかについての学校での評価~~ 配慮を必要とする児童生徒の共に学ぶための支援方法を検討するケース会議等の実施回数	~~点~~ 回	~~89~~ （2,064）	~~95~~ 2,500
			指導課	日本語指導受入れ対応児童生徒の延べ人数	人	87	90
			指導課	授業時間において、自校以外の様々な学校等と共に学ぶ交流をしている学校の割合	%	調査中	検討中
			指導課	授業時間において、学年を超えて共に学ぶ交流をしている学校の割合	%	調査中	検討中
施策の方向性④ 体罰・暴言等の根絶	1	児童・生徒が安心して学校生活を送れるよう、教職員による体罰禁止の徹底と暴言等不適切な指導の防止を徹底します。	教育政策課 教職員課	体罰等審議会における体罰・暴言等の認定件数	件	18	10
	2	学校現場における体罰・暴言等、こどもの権利侵害事案に対する再発防止と迅速・適切な事後対応策を実施します。	教育政策課 教職員課	1（体罰等審議会における体罰・暴言等の認定件数）と同指標	件	18	10

基本方針（３）最適な教育環境の整備

施策の方向性	主な事業概要		関係課	検証指標	単位	基準値(R5)	検証値(R9)
施策の方向性① 安全・安心な学校づくりの推進	1	校舎、体育館、トイレ等の計画的な老朽化対策、施設・設備の改善を図ることにより、安全で良好な学習環境を整備します。	学校施設課	トイレ洋式化整備計画（10か年計画）の進捗率	%	49	73
	2	学校内外におけるこどもたちの安全確保を図るため、学校はもとより、教育委員会、道路管理者、警察など関係機関と連携して通学路の点検や整備を実施し、保護者や地域住民が連携して交通安全確保に取り組むなど、地域ぐるみでこどもたちの安全を守る環境の整備を進めるとともに、防災教育などの安全教育を充実します。	健康教育課	~~毎年実施している通学路安全点検による危険箇所への対応率~~ 小中学校における交通安全教室の実施率	%	~~70.8~~ 73.3	~~90~~ 85
	3	校区内の安全マップを作成・活用し、小中学校への防犯カメラの設置を推進します。	健康教育課	防犯カメラシステム設置計画の進捗率	%	64.8	100
	4	こどもたちが自ら危険を回避する力を身につけられるような指導を実施します。	健康教育課	小中学校における防災教室の実施率	%	83.0	90

基本方針（３）最適な教育環境の整備

施策の方向性		主な事業概要	関係課	検証指標	単位	基準値(R5)	検証値(R9)
施策の方向性② 学校におけるマネジメント体制の強化	1	学校におけるマネジメント力を強化するため、管理職をはじめとした教職員の研修プログラムや校務支援の充実を図るなど、効果的・効率的な学校運営を推進します。	教育センター	児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している学校の割合	%	小91.3 中97.7	小100 中100
	2	家庭、学校、医療や福祉などの関係機関をつなぐスクールソーシャルワーカーの充実を図るなど、教員が児童生徒に集中できる環境を整備します。	総合支援課	スクールソーシャルワーカーの支援件数のうち問題解決及び好転した件数~~の割合~~	~~%~~ 件	~~(46.8)~~ 調査中	~~60~~ 検討中
	3	保護者からの相談を受ける体制を強化するため、専門的な助言や必要な支援を行う「学校教育コンシェルジュ」等の充実を図ります。	総合支援課	新規の相談のうち終結に至ったケースの割合	%	(72.5)	85
	4	弁護士などの専門家との連携により、多様な学校現場の問題への対応力を強化します。	教育政策課	教員が学級の問題を抱えている場合、週に１回以上、ともに問題解決に当たっている学校の割合	%	60.9	75
施策の方向性③ 地域や家庭と連携した教育環境の整備	1	こどもたちが豊かな人間関係を築き、最適な環境で学習できるよう学校規模の適正化や通学区域の弾力化、義務教育学校の設置等を進めます。	指導課 教育改革推進課	学校が家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思う保護者の割合	%	(76.4)	80
	2	地域の実態に応じたより良い学校運営ができるよう、学校支援ボランティア制度などの活用を通して、家庭や地域社会と連携した学校づくりを進めます。	指導課	園・学校の学校支援ボランティアにおける延べ活動者数	人	(20,332)	40,000
	3	家庭や地域との連携による授業や体験活動、学校行事などを行い、開かれた学校づくりを進めます。	指導課	１（学校が家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思う保護者の割合）と同指標	%	(76.4)	80
	4	地域や家庭が共に学び支え合う社会の実現に向けて、地域学校協働活動やコミュニティ・スクールの導入などを検討していきます。	地域教育推進課	地域学校協働活動推進員~~の~~を配置~~を希望~~する学校数	校	0	16

基本方針（３）最適な教育環境の整備

施策の方向性		主な事業概要	関係課	検証指標	単位	基準値(R5)	検証値(R9)
施策の方向性④ 働き方改革の推進	1	「学校改革！教職員の時間創造プログラム」を着実に推進します。、ゆとりを持ってこどもと向き合える環境をつくります。	教育改革推進課	正規の勤務時間外の在校時間が1か月80時間を超える教職員数	人	230	0
				心のゆとりや自分の時間が増えた等と感じた教職員の割合	%	(54.2)	60
	2	教職員の質の高い人材の確保・育成を進めます。また、るとともに、女性管理職の登用を推進教員がこどもと向き合う時間を拡充します。	教育改革推進課 教職員課	教員採用選考試験における志願者数	人	615	670
	3	学校部活動について、こどもたちのスポーツ・文化芸術活動の充実と教職員の働き方改革の両立に取り組みます。	教育改革推進課 指導課	地域人材外部の部活動指導員数	人	8	210
	4	学校現場における教職員の業務実態の把握・分析及び教職員の専門性や役割分担の明確化と、教育DXの推進及び多様な専門スタッフや地域の人材を効果的に活用します。	教育政策課 教育改革推進課 指導課 総合支援課	教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていると思う学校の割合	%	小25.0 中9.3	小43.0 中30.0
	5	教科担任制の推進による質の高い教育と教員の負担軽減を図ります。	指導課	一部教科担任制を交換授業にて実施した割合	%	55.0	60.0

基本方針（４）こどものいのちと権利の擁護

施策の方向性		主な事業概要	関係課	検証指標	単位	基準値(R5)	検証値(R9)
施策の方向性① こどもの最善の利益を守る環境づくり	1	こども自身に直接関係する事項に関して、年齢や発達の程度に応じて、こどもの意見を反映する仕組みを構築します。	こども政策課	**※R6年度に「（仮称）熊本市こども計画」を策定していく中で整理**			
			教育政策課	学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるようにしている学校の割合	小--% 中--%	小38.0 中23.3	小60.0 中57.0
	2	学校の内外を問わず、こども本人や保護者等から、こどもの権利侵害に関する相談を受け付け、課題の解決を図ることで、こどもの権利を守ります。	こどもの権利サポートセンター開設準備室	こどもホットラインにおける相談件数	件	-	検討中
	3	生活に困難を抱えるこどもや保護者を必要な支援につなぐため、相談体制を整備するとともに、地域や関係機関との連携強化を図ります。	こども家庭福祉課	子育ての不安や困難を相談できる人や場所がある市民の割合　※（4)-③-1と同指標	%	調査中	検討中
	4	児童虐待の発生予防及び早期発見・早期対応を図るため、より専門性の高い相談体制を構築します。	こども家庭福祉課 児童相談所	児童虐待を相談できる人や場所を知っている市民の割合	%	調査中	検討中
	5	家庭での養育が困難なこどもに対する家庭的な養育環境の整備を図ります。	こども家庭福祉課 児童相談所	登録里親数（世帯）	世帯	調査中	214
	6	こどもの孤立化を防止するため、地域や関係機関と連携し、こどもの居場所づくりに取り組みます。	こども政策課	市内こども食堂設置団体数	箇所	59	95
			~~こども局~~こども家庭福祉課	こどもの居場所設置数	箇所	1	5
	7	障がい又は障がいの疑いのあるこどもに関する相談、診察、検査、初期の療育などの支援を行います。	こども発達支援センター 障がい福祉課	こども発達支援センターにおける相談支援件数	人	10,000	11,000
	8	児童生徒の自殺を防止する施策を推進します。	こころの健康センター 総合支援課	ゲートキーパー養成研修受講者数	人	調査中	250人
				若者版ゲートキーパー養成実施回数	回	調査中	2回

基本方針（４）こどものいのちと権利の擁護

施策の方向性		主な事業概要	関係課	検証指標	単位	基準値(R5)	検証値(R9)
施策の方向性②家庭環境に左右されない学習機会の充実	1	学習機会の充実を図り、社会を生き抜く力を育むための支援を行います。	こども家庭福祉課	放課後学習教室の開催校数	校	10	18
	2	教育に要する経済的負担の軽減に取り組みます。	指導課 総合支援課 こども家庭福祉課	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	小--% 中--%	80.8 64.9	検討中
				こどもの学習支援事業利用者の高等学校等進学率	%	―	100
施策の方向性③ライフステージに応じた継続的な支援の充実	1	特別な支援を要するこどもたちのライフステージに応じた切れ目のない支援を行うため、発達や育児に関する相談、初期療育の支援、就学に関する相談、卒業後の進学や就労の支援等、教育と福祉のみならず、労働などの関係機関との連携の充実を図ります。	~~こども局~~ こども支援課、こども発達支援センター、こども・若者総合相談センター、総合支援課	子育ての不安や困難を相談できる人や場所がある市民の割合　※（4)-①-3と同指標	%	調査中	検討中
施策の方向性④こどもの権利擁護に関する理解の促進	1	教職員、保護者やこども自身及び市民全体に対して、こどもの権利擁護に関する正しい知識を普及･啓発するため、広報誌やホームページ等のほか、民生・児童委員をはじめとする地域と連携して周知に取り組むとともに、教職員の人権研修の推進やこども自身がこどもの権利について学ぶ授業の提案等に取り組みます。	~~こども局~~ こどもの権利サポートセンター、 こども政策課 人権教育指導室	こどもの権利が守られていると感じる市民の割合	%	~~調査中~~ (43.9)	~~検討中~~ 55.0

基本方針（５）生涯にわたる学びの提供と学びの成果をいかす機会の創造

施策の方向性		主な事業概要	関係課	検証指標	単位	基準値(R5)	検証値(R9)
施策の方向性①学びと活動の循環による環境の整備	1	市民一人ひとりが豊かな人生を送ることができるよう、生涯学習による「学びと活動の循環」の仕組みを構築します。	生涯学習課	生涯学習が自らの向上に役立ったと思う市民の割合	%	~~(38.8)~~ (68.7)	~~60.0~~ 77.0
	2	熊本市生涯学習情報システムを活用した生涯学習情報の発信力を強化します。	生涯学習課	熊本市生涯学習情報システム閲覧者数	人	(10,912)	15,000
	3	地域の特性を生かした講座や、公民館などの生涯学習関連施設の機能を活用した様々な世代の学び直しを支援するセミナーなど、多彩で体系的な学習機会を提供します。	生涯学習課	公民館利用者数	人	(401,504)	700,000
	4	ＩＣＴを活用した学習機会の提供を進め、生涯学習関連施設に出向くことが難しい人でも学習できるよう、学習環境を整備します。	生涯学習課	オンラインでも参加できる講座等の開催	回	(29)	44

基本方針（５）生涯にわたる学びの提供と学びの成果をいかす機会の創造

施策の方向性		主な事業概要	関係課	検証指標	単位	基準値(R5)	検証値(R9)
施策の方向性② 青少年の健全育成	1	家庭教育を推進する地域人材の育成と、活躍できる場の提供に取り組むとともに、地域学校協働活動等の検討を進める中で、関係機関・団体等との連携により、家庭教育支援の充実を図ります。	地域教育推進課 生涯学習課	家庭教育セミナーの実施回数	団体・グループ	12	48
	2	児童の放課後等の居場所について、安全・安心に過ごすため、児童育成クラブの充実を図るとともに、こどもの実情に応じた活動の場のあり方を検討します。	放課後児童育成課	児童育成クラブ利用者の満足度	%	-	80
	3	地域住民が青少年の健全育成活動に参加できるよう支援します。	生涯学習課	地域における青少年健全育成活動への参加者数	人	(58,939)	85,000
施策の方向性③ 生涯学習関連施設の機能充実	1	紙の蔵書について、市民の要望や社会の要請、地域の実情等を反映できるよう、各図書館・図書室等の機能及び利用傾向等を考慮し、それぞれの施設の特性に応じた蔵書の構成の更なる充実に取り組みます。	市立図書館	図書館、公民館図書室等からの貸出冊数	万冊	(281)	300
	2	電子書籍について、誰もがいつでも、どこでも読書ができるよう、コンテンツの充実を図ります。	市立図書館	電子書籍の貸出点数	点	~~289,539~~ (289,539)	300,000
	3	図書館のサービス向上に取り組むため、次期図書管理システムの更新において、より利用しやすいシステムを構築します。	市立図書館	１（図書館、公民館図書室等からの貸出冊数）と同指標	万冊	(281)	300
	4	博物館の運営や活動の充実と向上を図り、社会教育施設としての機能を高めます。また、特別展・企画展の開催や、学校教育、関連施設との連携により魅力ある博物館をつくります。	熊本博物館	熊本博物館の来館者数	万人	(9.3)	12

基本方針（６）市民が身近に親しめる文化芸術の振興

施策の方向性		主な事業概要	関係課	検証指標	単位	基準値(R5)	検証値(R9)
施策の方向性① 文化芸術活動の推進	1	文化活動の支援や文化施設等における文化芸術の発信、文化芸術が持つ多様な価値の活用等を通して、文化活動の活性化や市民が文化芸術に触れる機会の創出に努めます。	文化政策課	文化に親しんでいる市民の割合	%	(31.3)	40
			文化政策課	学校等への出張公演の件数	件	(12)	20
	2	伝統芸能の後世への伝承や、次代の担い手育成に取り組みます。	文化政策課	１（学校等への出張公演の件数）と同指標	件	(12)	20
施策の方向性② 歴史的文化遺産の調査研究、保存整備と活用	1	文化財の適正な調査研究と保存を行いながら、市民一人ひとりが文化に触れる機会を創出することで、その価値の認識を促すとともに、文化財を活用したまちづくりや地域の魅力向上を推進します。	文化財課	文化に親しんでいる市民の割合	%	~~(30.6)~~ (31.3)	40

基本方針（７）ライフステージに応じた生涯スポーツの推進

施策の方向性		主な事業概要	関係課	検証指標	単位	基準値(R5)	検証値(R9)
施策の方向性① スポーツ機会の充実	1	健康増進や体力の維持・向上など市民ニーズに応じて、日常的にスポーツに親しむことが出来る機会を拡充するために、校区体育・スポーツ協会や総合型地域スポーツクラブなどの地域団体によるスポーツ活動を支援します。	スポーツ振興課	週1回以上（1回30分以上）軽い運動を含むスポーツをしている市民の割合	%	(50.7)	~~検討中~~ 58
	2	「する」「みる」「ささえる」といったスポーツへの多様な関わり方を踏まえ、スポーツイベントの開催やプロスポーツなどスポーツ情報などの提供、地域でのスポーツ活動の支援等に取り組みます。	スポーツ振興課	１（週1回以上（1回30分以上）軽い運動を含むスポーツをしている市民の割合）と同指標	%	(50.7)	~~検討中~~ 58
施策の方向性② スポーツ施設の整備・機能充実	1	多様化するスポーツに対する市民ニーズへ対応するため、スポーツ施設の機能改善や競技備品の充実を推進します。	スポーツ振興課	スポーツ施設利用者数	万人	(260)	~~検討中~~ 280
施策の方向性③ 競技力の向上	1	競技団体等と連携し、各種スポーツの指導者養成を支援するとともに、スポーツ愛好者から競技者までの個人の体力や技術力に応じた運動メニューの提供などを進めます。	スポーツ振興課	国体出場者数（熊本市在住 選手・監督者数）	人	(230)	~~検討中~~ 260
	2	市民が一流のアスリートとふれあう機会の創出やスポーツ教室の実施などにより競技力の向上を図ります。	スポーツ振興課	１（国体出場者数（熊本市在住 選手・監督者数））と同指標	人	(230)	~~検討中~~ 260